

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		県理科作品展桜川市展企画事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	020101000156	
						単独/補助	単独		090801	
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	教育指導課	
総合計画の施策名		0201 学校教育の充実						課長名		
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	教育指導グループ	
施策名		01 学校教育の充実						担当者名		
手段名		01 ①教育内容の充実								
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	01	03	01	00	単年度繰返し (平成17年度~)			
法令根拠						教育指導事業				
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像) 児童生徒が自然の事物・現象について興味と関心を高めるとともに、目的意識をもって観察、実験などを行う。また、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに、科学的な見方や考え方を養うために研究作品を募集・展示する。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 会場借用、会場作成、搬入、審査、展示、搬出、会場後始末、出品者への賞状配付等や作品展の案内、会場監視、作品の説明等県理科展の運営に寄与する。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
9月上旬 校内理科展(科学研究作品、発明工夫作品) 代表作品選出 9月下旬~10月上旬 桜川市理科研究作品展(科学研究作品、発明工夫作品) 県西地区展代表作品選出	開催日数	日	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	作品展公開日数	日	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
桜川市の児童生徒	小学校児童数(義務教育学校前期課程含む)	人	1,808.00	1,750.00	1,649.00	1,649.00	1,649.00
	中学校生徒数(義務教育学校後期課程含む)	人	991.00	992.00	929.00	929.00	929.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
児童生徒の理科学習への意欲を高める	参加作品数(科学研究作品)	点	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	参加作品数(発明工夫作品)	点	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

		02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	42	39	39	
		事業費計(A)	千円	42	39	39	
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

03年度事業費 実績(千円)

04年度事業費 予算(千円)

		03年度	04年度
事業費の内訳	18 負担金補助及び交付金	39	39
	合計	39	39

事務事業名	県理科作品展桜川市展参画事業	事務事業No.	20101000156	所属課	教育指導課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
夏季休業中などの長期にわたる科学的な学習の成果を発表する機会とする。また、茨城県展、県西地区展に桜川市の代表として出展作品を決定する。作品数の多少の変化はあるが、概ね例年どおりである。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
参観者の数から作品展は好評であると言える。また、県西地区展や県展で桜川市代表の作品は好結果を残している。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	意図の「児童生徒の理科学習への意欲を高める。」ことにより、結果の「児童生徒の理科学習への意欲を高め、豊かな心の育成に努める。」ことは施策の学校教育の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	桜川市児童生徒の理科学習の発表を通して、理科学習への意欲を高めさせることは市教育委員会の責務である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	桜川市理科研究作品展(科学研究作品、発明工夫作品)を開催している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	児童生徒の理科学習への意欲を高め、豊かな心の育成に努めることができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)	<input type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名 統廃合の可能性はない。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理科作品展開催に経費削減の余地はない。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	桜川市の児童生徒を対象とした事業であり負担の公平性を求めるものでない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川市内小中学校において、児童生徒の理科学習の成果を、各作品展において発表することは、理科学習への意欲を高めさせ、理科学習への関心や理解を深めており、成果を上げている。																		
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">向上</td> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上	維持		○	×	低下	×	×	×
成果		コスト																		
		削減	維持	増加																
向上	維持		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>